

# 一筆箋に思いを込めて

昨年、自治区ごとに行われていた成人式を統一した奥州市の成人式。新成人とその家族が手紙を交わすイベントが「感動的な成人式」として全国的にも評価されています。そんな全国に誇れる奥州市成人式の取り組みを皆さんに紹介します。

## 時代と共に変わる成人式の形

ことしも「成人の日」に合わせて、各地で成人式が行われました。成人式は、二十歳を迎える若者たちが祝福や励ましを受け、大人として社会に踏み出していくための大切な行事です。しかし、全国を見渡すと、必ずしもそうなっているとはいえません。式の最中に大声で騒ぐ。一升瓶を手に酒盛りをする。さらには、ステージにのぼって暴れ逮捕されるなど、一部の新成人の行動が問題となっています。どうしてこのような問題が起きるようになったのでしょうか。新成人のモラルの低下も考えられますが、式のあり方自体にも問題があるという見方が出てきています。これまで成人式は、市町村の主導で行われてきまし

た。それがお仕着せの形になってしまい、新成人に受け入れられていないという意見があります。そこで近年、新成人の目線に立った式にしようと、あり方を見直す動きが出てきました。新成人が実行委員会を組織して自ら企画や運営をしたり、地域を挙げて成人式づくりにより力をしたりするような取り組みが各地で行われています。

## 手紙で思いを交わす奥州市の成人式

では、奥州市の成人式はどのような形で行われているのでしょうか。合併後も自治区単位で行われていた成人式は、昨年統一され、1つの会場で行われるようになりました。企画や運営は、新成人で構成する実行委員会が担当しています。そして

最も特徴的なのが、記念行事として行われる「家族からの手紙」と「二十歳からの手紙」です。かつて成人式大賞に輝いたこともある水沢区の記念行事を受け継いだものです。「家族からの手紙」は、新成人に内緒で、家族から一筆箋と呼ばれる便せんにしたためた手紙を預かり、式当日に受け付けで手渡しという内容のものです。さらに、手紙を寄せてくれた家族のうち数人がステージにのぼり、新成人の前で手紙を朗読。楽しかった思い出、つらかった出来事、面と向かって伝えることができなかった思いを家族が読み上げると、会場は感動に包まれます。新成人は、自分を近くで見守ってくれた家族への感謝の気持ちを「一筆箋に記し、二十歳からの手紙」として家族へ返すのです。

それでは奥州市の新成人の姿勢はどうでしょうか。統一後、初めて行われた昨年の式は、規模が大きくなることもあって順調にいくか不安もありました。しかし、終わってみれば新成人は大人として立派に行動し、整然と式が執り行われました。

## 心温まる取り組みがテレビの全国放送に

家族と心を通わす記念行事や新成人の真摯な姿勢が反響を呼び、奥州市の成人式はマスコミからも注目されています。昨年に続きことしも、全国で放送されているテレビ番組が取材に訪れました。「家族からの手紙」に感動20歳の涙：日本一泣ける成人式」という見出しで番組が放映され、奥州市の成人式が全国へと紹介されました。

## 全国放送のテレビ番組が「日本一泣ける成人式」と紹介

【解説】ギターとバイオリンが奏でる音楽に乗せて家族が手紙を朗読（写真上）、思い出の写真の前で言葉にできなかった気持ちを伝える家族（写真左・下）、心温まるメッセージに目頭を熱くする新成人も（写真右）

## 【一筆箋】

短冊型の細長い便せんのこと。普通の便せんより小さいため、手紙が苦手な人でも気軽に書くことができる

